

岡山畜産便り1960.06

編集後記

本誌が発刊されたのが昭和24年10月であるから、今年で足かけ11年日である。その頃と現在とを比べてみると、世の中も随分変わったものである。そして畜産の内容の変り方もそれに劣らず大きく発展した。巷には週間誌を始め出版物が氾濫している。畜産関係の印刷物も又然り、畜産便りの内容についても色々と考えてみるのだが、読者対象の巾が広く、また本誌の性格が広報、技術、行政と色んな面を持っていること。おまけに時間も思うようにはかけられない。文才がないなども加わって仲々思うように行かない。

実は今月号から編集を受持つように命ぜられて何とかやってみたものの、頭をかかえている次第である。読者諸賢の御叱正をいただいて逐次御要望に沿いたいと思っている。